# 令和2年度 課の運営方針書

上下水道局　企画調整課

## 1　課の運営方針

【課の使命】
上下水道の整備・充実の推進を図り、快適な生活環境で暮らせるまちづくりを進めます。

【課の目標】
安心、安全、快適な生活環境を実現するため、水道事業及び下水道事業の認可や事業計画、施設の新設、改築等の企画、調査を進めます。

①安全な給水の確保
- 水安全計画の運用
  水安全計画の検証や見直しにより水道水の安全性の強化を図ってまいります。
- 市民アンケートの実施
  利用者のニーズを把握し、水道事業の充実に努めます。

②下水道汚水処理施設の整備
- 汚水処理施設の計画策定
  下水道事業計画区域内の整備困難地区の汚水管渠の計画や下水道事業計画区域の見直しを行い、早期の水洗化を進めます。

③下水道雨水排除施設の整備
- 雨水排除の計画策定
  都市化の進展や集中豪雨により浸水被害が頻発する地区の雨水函渠やポンプ場整備について検討を行ってまいります。

④上下水道施設の長寿命化・耐震化
- 長寿命化・耐震化に係る計画の策定
  施設の計画的な維持管理や修繕・改築を行うための各種計画書の策定や見直しを行ってまいります。
- 徳山中央浄化センター再構築事業の推進
  徳山中央浄化センターは、老朽化が著しいため施設の改築更新や将来の高度処理に対応するための再構築に関する計画調査を進めます。

⑤経営の安定化
- 大口使用者特割制度の創設
  制度創設に向け調査・研究を行ってまいります。

【働き方改革による業務改善等の取組】
・残業時間は月30時間以内を徹底します。

## 2　担当（係）の使命（果たす役割）

（水道担当）水道施設の新設、改良事業等の企画、調査及び研究を行います。
（下水道担当）下水道施設の新設、改良事業等の企画、調査及び研究を行います。
（徳山中央浄化センター再構築推進担当）徳山中央浄化センターの再構築を推進します。

## 3　課の経営資源

（1）課の体制

| 職員数 | 8 人 | うち | 正職員 | 7 人 | ・ | 会計年度任用職員 | 1 人 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

| 人件費 | 正職員 | 51,408 千円 | 会計年度任用職員 | 1,732 千円 |
|---|---|---|---|---|

※H30職員平均給与（　7,344　千円）ベース　　※予算計上額

（2）事業規模

| 歳入予算額 | 千円 | 歳出予算額 | 千円 | （正職員人件費を除く） | 担当予算事業数 | 事業 |
|---|---|---|---|---|---|---|

上下水道局　企画調整課

４　課の中期目標（優先順）　第２次周南市まちづくり総合計画・後期基本計画に掲げられた基本施策を実現するための推進施策

| 目標 | 推進施策 | 実現したい成果　（最終目標） |
|---|---|---|
| 1 | ７　生活基盤<br>４　水道の安定供給と下水道の充実<br>(1) 安全な給水の確保 | 水安全計画の検証や見直しにより、管理基準や監視方法を適時見直すなど水道水の安全の確保に努めます。 |
| 2 | ７　生活基盤<br>４　水道の安定供給と下水道の充実<br>(2) 下水道施設の整備 | 整備困難地区について汚水管渠の整備計画策定を進めるとともに、地域によっては集合処理（公共下水道）から個別処理（浄化槽）への見直しを検討し、早期の水洗化を進めます。 |
| 3 | ７　生活基盤<br>４　水道の安定供給と下水道の充実<br>(2) 下水道施設の整備 | 雨水排除施設（雨水函渠や雨水ポンプ施設）を計画することにより、下水道事業計画区域内の低地の土地・家屋等への浸水被害を解消または軽減します。 |
| 4 | ７　生活基盤<br>４　水道の安定供給と下水道の充実<br>(3) 上下水道施設の長寿命化・耐震化 | 水道事業ビジョン、水道施設の長寿命化計画、耐震化計画や下水道ストックマネジメント計画に基づき、上下水道施設の適正な維持管理や計画的な更新更生を進めます。<br>また、徳山中央浄化センターの再構築を進めます。 |
| 5 | ７　生活基盤<br>４　水道の安定供給と下水道の充実<br>(4) 上下水道施設の経営の安定化 | 個別需給給水契約として大口使用者の特割制度を創設することで、新たな水道需要を喚起し、水道事業の経営基盤の強化を図ります。 |